

第3学年3組 道徳科学習指導案

第3学年3組(児童数 29名)

授業者 今 仁志

1 主題名 受け継がれてきた命(内容項目:D「生命の尊さ」)

2 ねらいと教材

- (1) ねらい 生命は遠い過去からつながっていることに気付き、生命を大切にしようとする心情を育てる。
- (2) 教材名 「ヌチヌグスージ 一命の祭り」(出典:「3 きみが いちばん ひかるとき」 光村図書)

3 主題設定の理由

(1) ねらいとする道徳的価値について

ここでいう生命は、連続性や有限性を有する生物的・身体的生命、さらには人間の力を超えた畏敬されるべき生命として捉えている。そうした生命のもつ侵し難い尊さが認識されることにより、生命はかけがえのない大切なものであって、決して軽々しく扱われてはならないとする心情が育まれる。

生命のかけがえのなさは様々な側面から考えられる。家族や社会的な関わりの中での生命や、自然の中での生命、さらには、生死や生き方に関わる生命の尊厳など、発達の段階を考慮しながら生命の尊さについての考えを深めていくことが重要である。生命ある全てのものをかけがえのないものとして尊重し、大切にしようとする心情を育てるために、生命の連続性や有限性に気付かせられるようにしたい。

(2) 児童の実態について

生命の連続性や有限性について気付かせられるようにするために、各教科等の学校生活において以下のような指導を行った。

①理科「植物・昆虫の観察」

ハウセンカが枯れた後に、実から種が取れることを観察してきた。そこで、植物が枯れて命が終わるのではなく、種から新しい命を繋げていることを学習した。そのことから、生命の連続性や受け継がれる命の尊さへの理解が深まってきた。また、同様に昆虫の観察からも生命の連続性を実感することができた。

②日常の指導

日頃から、学校の合い言葉にある、「自分もよく 相手もよく みんなもよく」という言葉を学級で共有し、人間以外の動植物や身の回りのものも大切にしようとして声かけを行ってきた。その結果、自分だけでなく、周りの気持ちを考えて発言や提案をする場面や、友達同士で思いやりのある言動が増えてきている。

また、自身の興味を優先し、生命あるものを乱暴に扱ってしまうことも減ってきているものの、気分によって相手を傷つける言葉を軽はずみに発言するといった様子が見られている。本教材を通して、今一度、命の尊さについて考え直し、大切にしていこうとする心情を育てるようにしたい。

(3) 教材について

「ヌチヌグスージ」とは、沖縄の言葉で「命の祭り」という意味である。沖縄の伝統である「ヌチヌグスージ」に立ち会った主人公のコウちゃんとオバアが、コウちゃんに命をくれた人は誰なのか考えていく。ご先祖様の誰か一人でも欠けたら自分が生まれていないことに気付いたコウちゃんが、ご先祖様に「命をありがとう！」と言う場面で終わる。

生命の尊さを感じさせるために、児童を主人公のコウちゃんに自我関与させ、「自分だけのもの」と思ってきた命が、ずっと昔から受け継がれてきたものであるとわかったときの気持ちを考えさせ、価値理解を深める。また、生命の尊さについて多面的・多角的に考えさせるために、「命をありがとう！」と言ったコウちゃんに児童を自我関与させ、自らの経験などからご先祖様に感謝をした理由や考え方を類推できるようにする。

4 学習指導過程

	学習活動 ○主な発問 ・予想される児童の反応	□指導上の留意点 ☆評価
導入	<p>1 「命」に対する問題意識をもつ。</p> <p>○命とはどんなものですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かけがえのないもの。 ・大切なもの。 ・わからない。 	<p>□事前に行ったアンケートの結果を提示し、ねらいとする道徳的価値に対する問題意識を高められるようにする。</p> <p>□事前アンケートの結果を提示する際には電子黒板を活用する。</p>
	「命の大切さとはなんだろう。」	
展開	<p>2 「ヌチヌグスージ 一命の祭り」を読んで話し合う。</p> <p>①コウちゃんは、どんな気持ちで「なんだかふしぎ」と言ったのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ご先祖様の誰か一人でもいなかったら、ぼくは生まれてこなかったんだ。 ・命はずっと昔からつながっているんだ。 ・ぼくが生まれてきたのがふしぎ。 ・生きてるってすごい。 <p>②「命をありがとう!」と言ったコウちゃんは、どんな気持ちになっていたでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ご先祖様のおかげでぼくは生きているんだな。 ・この命を大切にすね。 ・命ってすごく大事なものなんだな。 ・僕も命をつなげていくね。 	<p>□ねらいとする道徳的価値を自分事として考えられるようにするために、プレゼンテーションソフトおよび電子黒板を活用して教材を提示する。</p> <p>□命が受け継がれてきていることを「コウちゃん」に自我関与させて考えられるようにする。</p> <p>□命の大切さを「コウちゃん」に自我関与して考えられるようにする。</p> <p>□多様な感じ方や考え方を共有するために、ペアで交流し、全体で発表する。</p>
	<p>3 自分自身を振り返って考える。</p> <p>○「命の大切さ」についてどんなことを考えましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・命のつながりってすごいな。 ・ご先祖様たちがつないできた命を大切にしたい。 ・自分じゃない人の命も大切なんだな。 ・植物や動物の命も大切にしたい。 	<p>□児童一人一人が自分との関わりで、振り返ることができるようにするために、ワークシートを活用し、十分な時間を設定して書く活動を行わせる。</p> <p>☆命を大切にすることの大切さに気づき、これからの自分の態度を考えている。(ワークシート)</p>
終末	<p>4 相田みつをの詩を聞く。</p> <p>「自分の番 いのちのバトン」</p>	<p>□詩を聞き、命の大切さを感じながら、余韻をもって終われるようにする。</p> <p>□受け継がれてきた命の大切さについて深められるようにする。</p>